



クマ出没に警戒しましょう

各地域でクマの出没が報道されています

いつも地域の皆さまの健康を支える訪問看護にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。最近、一部地域において市街地でもクマの目撃情報が報告されています。訪問の際には、どうぞご自身の安全を最優先に、周囲の状況に十分ご注意ください。環境省や自治体のマニュアル等を参考にクマ遭遇時の対処について整理しましたのでご確認ください。なお、全てを網羅しているわけではないので、詳細は専門のマニュアルをご確認ください。

注意

- ・クマ類の生息状況、出没状況、被害状況などは地域によって異なります。各都道府県や地域の状況にあった出没対応マニュアルをご参照ください
- ・自治体では熊の発生状況を公表しています。特に出没の多い地域では市町村ごとに公表されていますのでご確認ください
- ・地域によっては、タイムリーな発生状況についてSNSを活用し情報を発信していますのでご確認ください

＜クマとばったり遭遇しないための注意事項の例＞

○自分の存在を知らせる

- ・クマ鈴やラジオなど、音の出るものを携帯しましょう
- ・見通しの悪い場所や、沢沿いなどの音が聞き取りにくいところでは、声を出したり手をたたいたりして存在を知らせましょう

○クマの生態や行動についてよく知る

- ・藪などの茂みに不用意に近づかない
- ・薄明薄暮の時間帯や夜間の外出をできるだけ控える
※クマが人の生活圏に出没する時間帯は薄明薄暮が多いとされています
- ・家の周りに照明を設置するなど、暗闇での早期発見に努める
- ・クマが侵入しないよう、自宅や倉庫などの施錠を徹底する など

出典)環境省 クマの出没対応マニュアル ー改定版ーp26、環境省 クマと共存するためにp5

クマ避けスプレーとクマ鈴



出典)環境省 クマと共存するために p5

クマ撃退
スプレー
の使い方



日本クマネットワークがYouTubeでスプレーの使い方を紹介しています

出典)・東京都環境局 被害を防ぐために チラシ

<もしも、クマと遭遇してしまったら>



まずは身の安全を守る

○遠くにクマがいることに気が付いた場合

- ・静かにその場を立ち去りましょう
- ・急に大声をあげたり、急な動きをするとクマが驚いてどのような行動をするか分からないため、注意しましょう

○近くにクマがいることに気が付いた場合

- ・クマは逃走する対象を追いかける傾向があるので、背中を見せて逃げ出すと攻撃性を高める場合があります。そのため、クマを見ながらゆっくり後退するなどして、落ち着いて距離をとるようにします。慌てて走って逃げてはいけません

○至近距離で突発的に遭遇した場合

- ・顔面や頭部が攻撃されることが多いため、両腕で顔面や頭部を覆い、直ちにうつ伏せになるなどして重大な障害や致命的ダメージを最小限にとどめることが重要です（下写真参照）
- ・クマ撃退スプレー（唐辛子成分であるカプサイシンを発射するスプレー）を携行している場合は、クマに向かって噴射することで攻撃を回避できる可能性が高くなります

○親子グマとの遭遇

- ・母グマは子グマを守ろうと攻撃的行動をとることが多いため、より一層注意が必要です。近づくことはせず、速やかにその場から離れることが必要です

○クマ撃退スプレーによる撃退

- ・クマの目や鼻・のどの粘膜にスプレーが当たるように、顔に向かって噴射することが重要です。誤射に注意しつつ、いざという時にすぐ使うことができる場所に携帯することが必要になります

出典)環境省 クマ類の出没対応マニュアル -改定版- p72・73



写真)秋田県公式サイト ツキノワグマ情報

安全な場所まで避難できたら、**自治体**や**警察(110番)**に
クマ出没情報を知らせましょう

自治体や警察に報告するクマ出没情報の内容 出没日時・出没した場所・頭数(親子)・大きさ・行動・被害の程度 等

出典)環境省 クマ類の出没対応マニュアル -改定版- p40・41

出典・環境省 クマの出没対応マニュアル -改定版- https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/pdfs/manual_full.pdf
環境省 クマと共存するために <https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5/docs5-kuma.pdf>

北海道に所在する訪問看護ステーションのクマ対策の一例

- ・クマが出た際は自治体が情報発信しているので意識している
- ・クマが出る地域では利用者宅の玄関前に車を寄せて停め、家に入るようにしている
- ・クマが出る山奥に独居で暮らしている人もいるが、地域住民や包括支援センターが目をつけているので生活を継続できている
- ・認知症で徘徊をしている高齢者について、地域包括支援センターが介入し、クマの被害も懸念して、施設入所準備を早めに行った事例がある



公式WEBサイト

公益財団法人
日本訪問看護財団

平時からの心構えと備えが重要です！